

AMCoR

Asahikawa Medical College Repository <http://amcor.asahikawa-med.ac.jp/>

日本輸血学会雑誌 (2006.3) 52巻1号:62ページ.

当院における輸血照合システムと導入早期の状況

紀野修一, 友田豊, 遠藤玲美, 渋佐琴恵, 葛西眞一

9. 当院における輸血照合システムと導入早期の状況

旭川医科大学附属病院輸血部¹⁾, 旭川医科大学第二外科²⁾

○紀野 修一¹⁾, 友田 豊¹⁾, 遠藤 玲美¹⁾
 洪佐 琴恵¹⁾, 葛西 眞一²⁾

【はじめに】2004年9月1日から輸血オーダ・照合システムが稼働した。今回、輸血照合システム導入早期の状況について報告する。

【輸血照合システム】製剤を出庫する際に、患者と各製剤バッグの対応づけを行う(出庫時チェック)。輸血時には、医療従事者のID、患者に着けられたバーコード、製剤のバーコードの3者を照合する(開始時チェック)。開始時チェックが行われると輸血の医事請求が発生する。輸血の終了、中止時には、終了確認と副作用チェックを行う(終了時チェック)。

【システム導入早期の状況】ICU、消化器病棟、小児病棟で2週間の試用を行いシステムの稼働を確認した後、全部署で一斉に運用を始めた。導入早々、開始時チェック未施行のため医事請求が発生しない事態が発生した。また同時に、取り違え防止機構が働かない、使用記録の保存が不能という事態も発生した。そこで